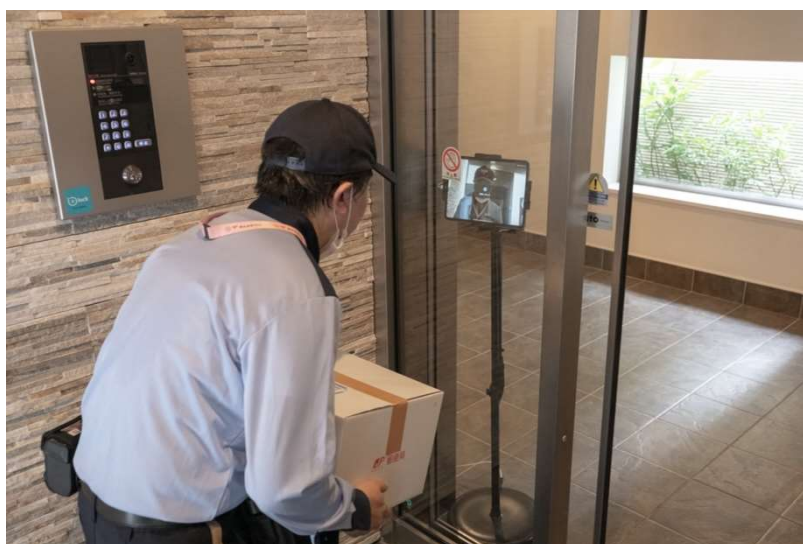


---

## ビットキーと日本郵便、配達員顔認証による オートロックマンションへの『置き配』実証実験を開始

---

株式会社ビットキー（本社：東京都中央区、代表取締役：江尻祐樹・福澤匡規・寶槻昌則、以下 ビットキー）は日本郵便株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：衣川和秀、以下 日本郵便）と、東京都内のオートロックマンションに配達されるゆうパックを対象として、7月27日～8月20日まで置き配の実証実験（以下、本実験）を実施いたします。



### ■本実験の背景

近年、ECの急激な利用増加に伴い宅配便の取り扱い個数が増加しており、配達員への業務負担増大などにつながる高い再配達率が社会問題の1つとなっています。この課題を解決する手段として従来主流であった「宅配ボックス」「コンビニ受け取り」に加え、新型コロナウイルスの感染拡大に伴うライフスタイルの変化により、新たな選択肢としてニーズの高まっている玄関前への「置き配」の拡大可能性を検討するため本実験に至りました。

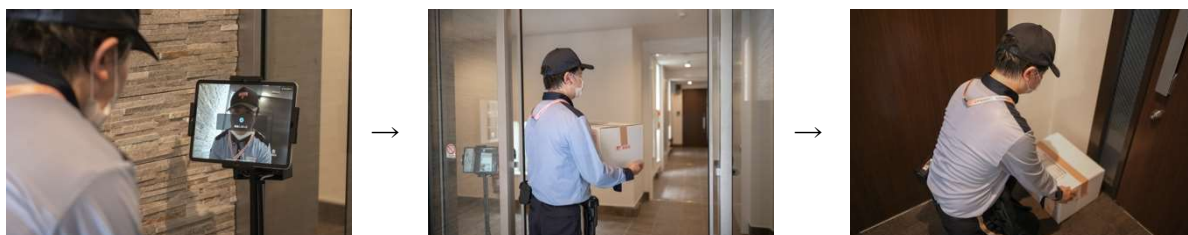
### ■本実験の概要

場所：東京都世田谷区のオートロックマンション

- 期間 : 2021年7月27日～8月20日
- 対象者 : 事前にお申し込みいただいた入居者
- 実証内容 : 再配達率や配達時間、対象者の満足度などの検証
- 事前設置物 : オートロックエントランスのドアと連携したbitlock GATE  
顔認証を可能にする、bitlock GATEと連携したタブレット端末
- 対象荷物 : 対象者宅宛のゆうパック、国際小包、EMS（料金の支払いを伴うもの、セキュリティ、生もの等を内容品とするもの等、一部置き配を実施しない荷物があります。）

<運用方法>

- ・対象者の自宅宛にゆうパックのお届けがある場合、配達員が事前に登録した顔認証により共有部のオートロックを解錠
- ・専有部玄関でインターホンを鳴らし、不在時は玄関前に置き配、在宅時は対象者の希望に応じて手渡し、もしくは玄関前へ置き配を行う



■今後の展開

今後、本実験を通じて得た課題をもとに、2021年秋頃にも実験の実施を予定しています。これらの検証を通じ、両社では引き続きお客様へのサービス向上に向けた取り組みを進めてまいります。

■ビットキー事業内容

デジタルコネクトプラットフォーム「bitkey platform」を開発し、認証技術を強みとして、スマートロックをはじめとした多様なビジネスを展開してきました。「bitkey platform」を活用したスマートロックやhomehubは、製品やサービスとつながることで機能を拡張でき、すでに家事代行サービスの予約とカギが連動する機能なども提供しています。また、物件の占有部向けだけでなく、マンションのオートロックエントランス向けスマートロック「bitlock GATE」を提供しており、既に7700台以上を受注。オートロックのプラットフォーム構築に向けて不動産デベロッパーや管理会社との連携を強化しています。

## ■bitlock GATEとは

ビットキーが開発する電子制御ドア向けのスマートロックです。スマートフォンアプリから扉の鍵を簡単に開閉可能です。居住者が不在の場合でも、「人・時間・回数」などの制限付きデジタルキーを発行することで、配達員や、家事代行スタッフなどがスマホでオートロックのエントランスの鍵を開けることができます。

### 【株式会社ビットキー会社概要】

社名 : 株式会社ビットキー  
本社 : 東京都中央区京橋3-1-1東京スクエアガーデン14F  
代表者 : 代表取締役CEO 江尻祐樹（えじり・ゆうき）  
代表取締役COO 福澤匡規（ふくざわ・まさき）  
代表取締役CCO 寶槻昌則（ほうつき・まさのり）  
創業 : 2018年8月1日  
資本金 : 9,036,920,300円（2021年4月28日現在 資本準備金を含む）  
事業概要 : デジタルコネクトプラットフォームの企画・設計・開発  
Home/Workspace/Experience領域のコネクトプラットフォームの開発・販売・運用  
上記プラットフォームと連携するプロダクトおよびサービスの開発・販売・運用  
※「ビットキー」「bitkey」（大文字小文字含む）は当社の登録商標です。

<本リリースに関するお問合せ先>

株式会社ビットキー 広報PR担当 北島 岩熊

TEL : 070-4096-9567 Mail : team\_pr@bitkey.jp